

八林秀一先生の思い出

サッカー部マネージャー 桜井 暁大 (経営3)



11月5日に66歳で亡くなられた八林秀一経済学部教授は、サッカー部の部長を務めていた。マネージャーの桜井暁大さん(経営3)から八林先生の思い出が寄せられた。

◇ 八林先生は1990年からサッカー部の部長として、私たちを導いてくださいました。部員一同、八林先生の回復を心待ちにしておりました。が、かなわず急な訃報に愕然としております。源せられ、次の一步を明示し、平貴久監督によると、亡されるような温かいものでした。

▲ 東大対京大・サッカー部OB戦での八林教授(2007年)

八林先生は常に笑顔で、お話をしてくださる時は、学生時代を思い出さず、父親のようでした。八林先生を忘れませぬ。サッカーファミリーとして心よりご冥福をお祈りいたします。

心に響いた言葉 決して忘れない

八林先生は常に笑顔で、お話をしてくださる時は、学生時代を思い出さず、父親のようでした。八林先生を忘れませぬ。サッカーファミリーとして心よりご冥福をお祈りいたします。

今年度、関東大学サッカー連盟の評議員議長も兼任された八林先生の強鮮明に覚えています。サッカー部は、関東大学一部リーグを優勝で飾り、2連覇を果たしました。私たちがサッカー部は来年1月6日、全日本大学サッカー選手権大会連覇を八林先生にささげべく精進してまいります。

東京大学サッカー部に所属しておられた八林先生は、チーム一の快速アタッカーで、点取り屋だったと聞いています。私たちは、サッカーと人生の師であり、父親のようでした。八林先生を忘れませぬ。サッカーファミリーとして心よりご冥福をお祈りいたします。

専大校友を訪ねて



菊地 正浩さん (平17法)

「私は手漉き和紙の心援団」。今年8月に上梓した『和紙の里 探訪記』(草思社)を手にほほ笑んだ。

きっかけは和紙でできた古地図との出会い。300年ほど前の江戸時代のものなのに、原型を保持、腐敗や虫食いがみられ、多彩な用途により日本の文化を支え、生活に生かされている。

「和紙の里(生産地)を訪ねてみた」。自ら車を運転し、2年半かけて全国の300カ所を取材してまとめたのが本書だ。手漉き和紙に必須

全国300の手漉き和紙の里を訪ね本に

の清冽な水を育む深山。訪ねた地すべてが日本の原風景そのもので心打たれた。

だが、和紙の凋落は急速だ。自然環境の変化、機械化の拡大、特に従業者の高齢化と後継者問題は深刻。1000軒あった工房が1軒になった紙里も。「2050年には手漉き和紙産産業はほぼ消滅」と警鐘を鳴らす。

光を見いだした紙里もあつた。自ら進んで技術を学んだ「一代漉き」の人々だ。水俣和紙(熊本県水俣市)の職人は、「公書の原点」の地をボランティアとして訪ね、28年前に復活させた。支えたのは胎児性・幼児性水俣病患者ら。働く喜びをもって作業をしていくという。

専修大学教育学会設立60周年記念大会を開催



▲ 会員ら196人が参加した

専修大学教育学会(会長 日高義博)が、理事の設立60周年記念大会が11月23日、神田キャンパスで開催された。今回のテーマは「教育の成」から「育成」へそれぞれの現場から、いま伝えたいこと。

会員と教職課程を履修する学生ら合わせて196人が出席し、研究会と会場参加型パネルディスカッションが行われた。研究会では横浜市立嶺南小学校の宮内美穂教諭(平21文)、三田市立狭間中学校の北本威教諭(平14法)、私立日本放送協会学園高校の宮坂恵美子教諭(平15商)、筑波大学附属属聴覚特別支援学校の雁丸新一教諭(平14商)が、それぞれ自身の体験を交えながら、各校の現状や課題を発表した。

会場参加型パネルディスカッションのテーマは「教職への想い―教師としての、今とこれから―」。都立富士森高校の錦織政晴副校長(昭55院



評議員の坂井さんが本学に寄付

評議員の坂井寿憲さん(昭53専政)が、専修大学の教育研究振興協力資金(体育振興含む)と校友会に寄付金を贈った。11月27日、神田キャンパスを訪れた坂井さんは日高理事長・学長に手渡した。写真。坂井さんは本学に長年、多額の寄付を贈っていただいている。

都合により
写真は掲載
いたしません

史上最年長で獲得

藤田寛之さん(平5経済・ゴルフ部、43歳)が11月29日、12月2日、東京・よみうりCCで行われた「日本シリーズJTカップ」で史上初の大会3連覇を達成するとともに初の賞金王を獲得した。

43歳で初めて賞金王になったのは1973年のツアー制度施行後では最年長。

また、男子国内ツアーの「つるやオープン」「ダイヤモンドカップ」「ANAオープン」でも優勝し、今季4勝、日本ゴルフツアー機構(JGTO)の年間最優秀選手(MVP)など5冠に輝いた。

写真提供：共同通信社

叙勲受賞者

◇ 旭日双光章
辻村 和雄(つじむら・かずお) 昭40経商)

選挙結果

【町議会議員】当選
▽ 山梨県南巨摩郡南部町 鍋田 幹雄氏(昭42経)

【村長】当選

▽ 山梨県南都留郡山中湖村 高村 文教氏(昭49商)

校友会からのお知らせ

〈顧問・相談役・参与懇談会〉
▽ 1月11日(金) 18時30分開会 神田キャンパス15階「報恩の間」

専修人の新しい本

『ダウン・バイ・ロー』
深町 秋生著

が電車に飛び込み自殺してしまう。以来、響子の耳には死んだ通のささやきが聞こえ、周囲では不可解な事件が連続して起る。

深町秋生さん(平10経済)は本作で、「自分が書きたい小説」を目指したという。

大型ショッピングモールに客足を奪われ、衰退を続ける山形・南出羽市。それに追い打ちを掛けるような震災の発生。女子高生・真崎響子は幼なじみの通から小遣いをまきあげ、憂さを晴らす日々だった。その通

深町さんの出身地・山形で実際に起きた事件をモチーフに、一人の女子高生の目を通して、地方に漂う閉塞感を見事に描き出している。(講談社文庫 本体724円十税)

「東日本大震災」により被災した学生等に対する支援金のご協力を

「東日本大地震」により、被災した学生への支援金を今年度も募集しております。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

【郵便振替(郵便局からの振り込み)】
備え付けの用紙を使用してお振り込みをお願いします。通信欄に大学との関係等をご記入ください。なお、手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

口座記号番号：00140-1-612204
加入者名：学校法人専修大学寄付金
寄付者のご芳名を大学広報紙「ニュース専修」と大学のホームページ上に掲載します。
※この支援金は寄付金控除の対象となります。
専修大学募金局 ☎03(3265)3157